

科目名	経営組織特論		D3-216	担当教員名	狩俣 正雄
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2 Semester (前半)
曜日・時限	土曜日・4限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	<p>組織は一人ではできないことでも二人以上の協働でならでる、一人でやるよりも協働でやる方が大きな利益を得られる場合に形成されます。組織は何らかの目的を達成するために形成されますが、この組織は、われわれ社会の必須不可欠の存在であり、組織が活性化し有効に機能するかどうかは社会の発展を大きく規定します。授業では、教材等について受講生のプレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、営利組織(企業)とは何か、非営利組織(NPO)とは何か、それらはどのようなメカニズムによって機能し行動するか、組織を有効に運営するマネジメントとは何かについて学習し、組織の行動原理やリーダーシップの本質を習得することを目的とします。</p>				
到達目標	<p>1) 企業やNPOの基本的メカニズムや行動原理を学び、説明することができる。 2) 企業やNPOの実践的な問題に対して、学習内容を活用して創造的に解決することができる。 3) 事業内容に対応した最適な組織、あるいは働きがいのある最高の組織をデザインすることができる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	9/25	経営組織論の展開	伝統的組織論、人間関係論、行動科学的組織論、システム論、意思決定論、コンティンゼンシー論、知識経営論などについて学習し、討議する。 [グループディスカッション]		○
2	10/2	経営組織の形態	組織の基本形態、職能部門別組織、事業部制組織、マトリックス組織、カンパニー組織等の特徴について学習し、討議する。 [グループディスカッション]		○
3	10/9	組織変革	変革の抵抗要因、変化のレベル、変革過程、変革に必要なダイアログを学習し、変革を成功に導く条件について討議する。 [プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
4	10/16	経営倫理	道徳、正義、倫理の発達段階、経営倫理の役割について学習し、組織の不祥事防止策等について討議する。 [プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
5	10/23	コーチング	コーチングのGROWモデル、NLPコーチング・モデル、統合コーチング・モデルなどを学習し、コーチングに必要な知識や技能について討議する。 [プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
6	10/30	リーダーシップ	変革型リーダーシップ、カリスマ的リーダーシップ、サーバント・リーダーシップ、オーセンティック・リーダーシップ等を学習し、受講生の所属組織におけるリーダーシップのあり方について討議する。[プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
7	11/6	働きがいのある最高の組織作り	長時間労働、過労死、鬱、過度のストレスなど働く職場で起こっている問題を解決するような働きがいのある最高の職場作りについて討議する。 [プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
8	11/13	スピリチュアル経営	コントロール型経営、協働型経営、支援型経営、スピリチュアル経営を学習して、理想的な経営の在り方について討議する。 [プレゼンテーション] [グループディスカッション]		○
キーワード		営利組織、組織変革、経営倫理、リーダーシップ、スピリチュアリティ		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	『スピリチュアル経営のリーダーシップ』狩俣正雄 中央経済社 2017年			
	参考書(任意購入)	『信頼の経営』狩俣正雄 中央経済社 2009年			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート(論述式)(60%)、②プレゼンテーション(20%)、③グループディスカッションへの参加・貢献度(20%) [経営組織論の基本的な知識を習得し、それを現実の組織に援用して実践的な問題の解決策を導き出せるか。]			
授業時間外に必要な学修		指定教科書を授業までに熟読し、内容を事前に理解しておくこと。また授業で理解できなかった点を復習すること。プレゼンテーションやグループディスカッションの際は、入念に資料作成などの準備をしておくこと。			
学生へのメッセージ		私たちは組織社会の中で生活しています。組織は社会にとって不可欠の存在であり、それなしには私たちの生活は成り立ちません。その経営組織やNPOの行動原理を理解することは有意義な生活を営む上で重要なことです。この科目では、働きがいのある最高の職場作りを求められるリーダーシップの知識やスキルを高めるようにします。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。